

宮私幼だより

No. 138
 社団法人 宮城県私立幼稚園連合会
 〒980-0803
 仙台市青葉区国分町三丁目6-12
 佐正第二ビル6F
 TEL 022-263-7040 FAX 263-7925
 http://www.miyashiyo.or.jp/
 編集・発行人
 理事長 村山十五



○関係機関団体

- 3月4日 宮城県議会議員との早朝勉強会（江陽グランドホテル）
- 3月25日 免許状更新講習（第4回）選択
- 5月8日 幼稚園等新規採用教員研修会（総合教育センター）
- 5月10日 仙私幼総会（旭ヶ丘市民センター）
- 6月6日 宮私幼PTA連合会総会（市民会館）
- 幼稚園等新規採用教員研修会（宮城教育大学附属）
- 被災地子ども子育て懇談会（県庁特別会議室）
- 6月6日 県新任研・10年研
- 7月1日 幼稚園等新規採用教員研修会・幼稚園10年経験者研修
- 7月23日 私学審議会
- 7月29日 私学審議会
- 8月9日 私学審議会

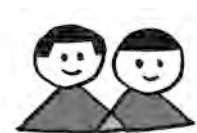
○全日私幼連

- 5月10日 理事会（東京）
- 5月25日 定時総会（東京）
- 6月21日 第21回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会（福島大会）
- 6月22日 第1回全日私幼連東北地区会（福島）
- 6月26日 子ども子育て会議対応研修会（東京）
- 6月27日 公開保育コーディネートセミナー養成講座（東京）
- 7月1日 PTA全国大会（東京）
- 8月5日 平成25年度第1回東北地区団体長会議（山形市）
- 8月3日 免許状更新講習（第1回・必修）（戦災復興記念館）
- 8月10日 免許状更新講習（第2回・選択）（戦災復興記念館）
- 8月11日 免許状更新講習（第3回・選択）（戦災復興記念館）
- 8月24日 第4回幼児教育実践学会（福岡）

○宮私幼のあゆみ

- 3月6日 研究委員会
- 平成25年度教育研究発表大会発表園打合せ会
- 3月7日 第1回設置者・園長研修会、第2回通常総会、臨時理事会
- （戦災復興記念館）
- 3月15日 総務・給付委員会、常任理事会
- （2頁に続く）

事務局だより



こどもが
まんなか
PROJECT

平成25年度 第1回宮私幼通常総会

平成25年5月29日(金) 13:00～ 仙台市旭ヶ丘市民センター4Fホール

去る5月29日平成25年度第1回宮私幼通常総会が開催されました。鎌田文恵副会長の開会挨拶、「幼稚園賛歌」斉唱、村山十五理事長の挨拶の中では、

1. 子育て関連3法が成立し各市町でも「子ども子育て会議」の設置が義務付けられており6月中には設置されるので、小さい町では会議の中に必ず委員として私立幼稚園からも入れてもらえるように働きかけること。

2. 24年12月政権交代以降、幼稚園児の無償化実現の動きが活発になってきており、全日私幼でもそのための運動の一環として1千万人の署名活動を開始しているところであるが、まだまだ必要であるので6月15日位まで更に協力をお願いしたい。

幼児教育の無償化は、平成26年度からの実現を要望しているところで、始めは、就園奨励費増額で賄われ、平成26年度には5歳児の無償化の実現をお願いしているところであり、27年度5、4歳児、28年度5、4、3歳児と運動を展開していくことが話された。無償化は、保育料が対象なので教材費や行事費なども保護者にきちんと話をして1本化にすることを提言したい。こと等が話された。

来賓祝辞では、宮城県私学文書課長千葉章様からは、日頃より幼児教育に力を注いでおられる皆様に感謝申し上げるとともに震災後、皆様のお力添えを頂き、子どもたちの笑顔が多く戻りつつあり正常化への努力に感謝したい。これからも子どもたちが良質の教育環境の中で人間形成ができるよう私学への手助けになれるよう努力していきたいと挨拶されま

した。続いて渥美巖宮私幼PTA会長からの祝辞では、PTAの精神に基づき

1. すべての子どもによりよい保育環境に努めよう。
2. 良い親、良い保育者になるよう努めよう。
3. 保護者の経費負担軽減に努めよう。

を目指していきたいと思う。県内の8割の園児が通う私立幼稚園の園児の補助金は、25年度学費169,311円 個人、宗法69,240円と決まっているが少しでも県費を上げていただけるよう頑張りたいと思う。更に子どもたちの子育て環境のために運営費補助金のアップに力を入れていきたい旨のお話しを頂きました。その後定足数の確認に移り正会員182名のうち、出席114名、委任状45名 計159名で、本総会が成立したことを確認し、議長にみづほ幼稚園の津田廣明先生と、根白石幼稚園の庄司昭博先生が選出されました。また、議事録署名人は、ミネ幼稚園奥野成賢先生、泉の杜幼稚園菊池正隆先生が選任され、議事が進行されました。第一号議案、第二号議案は関連性があり一緒に審議され、平成24年度の事業報告、一般会計、退職手当資金給付特別会計、受託事業決算報告、監査報告がなされについてそれぞれ報告があり、監事の監査報告がなされ、全員異議なく承認されました。質疑の中では退職手当資金給付特別会計の運営状況についての質問が2人から出ました。

報告事項として、東日本大震災義捐金の状況について報告されました。その後、「花のおさなご」を斉唱し、佐藤宏郎副理事長の閉会の言葉で総会の一切が終了しました。



Close・up 理事会

平成25年度宮私幼理事会の概要

【第1回理事会】

日時 平成25年5月15日(水)午後3時～

場所 宮私幼会議室

議事

- (1) 平成25年度第1回通常総会の議案について
 - ①第1号議案 平成24年度の事業報告について
 - ②第2号議案 平成24年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計受託事業決算報告並びに監査報告について
- (2) 平成25年度第1回通常総会の議長、議事録署名人及び司会について
- (3) その他

- ① 一般社団法人移行について
- ② 放射線の測定結果について
- ③ 「震災記録集」の原稿(案)について
- ④ 公開保育コーディネイター(評価書)養成講座について
- ⑤ 地方版「子ども・子育て会議」への参画について
- ⑥ 無償化実現のための署名活動について

【第2回理事会】

日時 平成25年7月5日(金)午後12時30分～午後1時30分

場所 仙台ガーデンパレス 4階「羽衣」

議事

- (1) 平成25年度宮城県私立幼稚園教育振興大会・第42回宮城県私立幼稚園PTA大会・第1回全日本私立幼稚園連合会東北地区フォーラムについて
- (2) 石巻「栄光幼稚園」の入会について
- (3) 実技講習会費(気仙沼・登米地区)について

平成25年度宮城県私立幼稚園教育振興大会

第42回宮私幼P T A研修大会

第1回全日本私立幼稚園連合会東北地区フォーラム

大会スローガン『高めよう絆を！』～子育ては、親と地域と幼稚園～

平成25年7月11日(木) 午前10時～午後0時20分 仙台市国際センター

第1部 宮城県私立幼稚園教育振興大会

開会の言葉、「愛の花輪」斉唱に続いて宮私幼村山十五理事長からは私立幼稚園を取り巻く環境は一段



と厳しいので県には特段のご配慮をお願いしたい、また宮私幼P T A渥



美巖会長からは宮私幼と一体となって補助金増額をお願いしているとのことご挨拶をいただきました。それに対して、宮城県知事村井嘉浩様は、ご祝辞の中で県の厳しい財政の中、何とか毎年補助金を増額し、今後も善処したいとの力強いお言葉を頂きました。そして、宮城県議会議長代理として佐々木征治副議長様からもご祝辞を賜りました。



来賓紹介の後、大会宣言が宮私幼理事根来興宣先生、宮私幼P T A副会長霜山可奈子様により読み上げられ満場一致を以て承認され、中島源陽宮私幼P T A副会長の閉会の言葉をもって第1部が終了しました。



第2部 第1回全日本私立幼稚園連合会東北地区フォーラム

初めに、全日私幼連東北地区長児玉昭平様（山形県連会長）からこのフォーラムの主旨は、幼稚園児の保護者の皆様の資質向上を図るためでもあるとのこと挨拶を頂きました。



幼児教育シンポジウム

講師蝦名喜之様（文部科学省幼児教育課長）より「幼稚園教育を中心とする幼児教育の無償化実現に向けて」と題してお話を頂きました。幼児教育の無償化は、人格形成の基礎を築くためにきわめて重要で、アメリカで幼児教育を受けた人、受けなかった人を30年、40年後に比較した結果、年収や犯罪の多さにも大きな差が出ている。脳科学でも、幼児教育を受けるか否かで小学校や中学校に入って、成績にも差ができる。さらに幼児教育を無償にして経済的負担が少なくなれば、少子化対策にもなると思う。昨年、再び自公政権になり、今年3月に幼児教育無償化検討チームができた。まず低所得やお子さんの多い方々について、負担の軽い方に合わせて平成26年度に向け幼稚園就園奨励費を増やそうと考えている。国民全体、新しい税金で家庭の負担を軽減していくことがセットになってくるので、幼児教育への思いを周りの方々にアピールし、共有していただくことにより無償化に繋がるものと思っている。



「幼児教育の無償化を求める宣言」

林な奈宮私幼P T A研修部副部長により読み上げられ、満場一致の承認を得て、文科省蝦名幼児教育課長に手渡されました。



こどもまんなかPROJECTセミナー

家森幸男先生（武庫川女子大学国際健康開発研究所長・京都大学名誉教授・医学博士）により『大豆は世界を救う～大豆を食べて親子で健康に！～』と題してご講演をいただきました。

私どもは世界中で何を食べている方が元気なのか調べてきた。身近なデータとして、朝食抜きや好き嫌い、大豆嫌い、魚嫌いはインフルエンザや風邪に罹りやすい。老人ホームでみそ汁にメカブに含まれるフコイダンを入れたグループと、入っていないグループにインフルエンザのワクチンをうったところ、免疫の付きやすいのは前者であった。長寿世界の日本で沖縄の女性がダントツだが、アメリカやブラジルに移住した沖縄の人は心臓病も多く17年も短命になっているので、沖縄の人の長生きは遺伝子でなく、食生活によるものだと言うことが分かった。これに対して世界で短命はスコットランドで、野菜を食べないでファーストフードの肉、パン、ポテトチップを食べ、日本、フランスなどより4、5倍心筋梗塞が多い。



特殊な尿採取用のカップを使い世界中で集めた尿から、食塩はナトリウム、野菜はカリウム、大豆はイソフラボン、魚はカオリンを計ると、何をどれだけ食べたか分かる。日本人、中国人、フランス人などは食塩の量が少なく、魚、野菜、大豆を多く食べている。食塩16グラムで脳卒中が起きるので、日本では7.5グラム、WHOは5グラムという目標値になっている。食塩が増えると胃の粘膜が荒れ、ピロリ菌が胃潰瘍から胃ガンを作る。カリウムよりナトリウムの割合が高いと脳卒中が多くなり、逆にカリウムをたくさんとれば、悪さをするナトリウムを追い払ってくれる。女性を守っているのはホルモンだが、大豆のイソフラボンは女性ホルモンのエストロジェンに似た構造で、それが働いて一酸化窒素（NO）を作り、NOは血管を拡張し、血液をさらさらに流させる。NOは活性酸素に合うとすぐ壊れてしまうが、それを抑えてくれるのが野菜で、大豆プラス野菜が血管の健康を守る。尿にイソフラボンが多く含まれる人は、心臓死、脳梗塞が少なく、肌が綺麗になり、脳、心臓、腎臓、その他の臓器の循環も良い。さらに、肝臓は悪玉コレステロールを処理するが、イソフラボン



が強すぎる女性ホルモンをうまく調整してくれる。日本では前立腺ガンも乳ガンも少ないが、それは

大豆の効用で、朝納豆を食べ、夜冷や奴、枝豆にビールでもイソフラボンが簡単にとれる。あらゆるガンも大豆をたくさん食べると死亡率が少なくなるのは、ガン細胞が発生すると毛細血管が伸びて大きくなり、それを伝って全身に広がって患者は亡くなってしまいが、イソフラボンはガン細胞を兵糧攻めにしてその血管を作らせない作用がある。沖縄のゴーヤチャンプルは、ニガウリに抗酸化ヨウ素、チャンプルはイソフラボンが入っており、豚肉は茹でこぼして油を除き、モズクなどの海藻、魚を加え、沖縄の長寿を支えてきた。大豆をたくさん食べると動脈硬化指数が良くなり、心臓死が減って7年長生きし、食塩控えめで3年長生きし、合わせて10年寿命が延びる。現在のオーストラリアのアボリジニに肥満、高血圧が多いのは、100年前までのカンガルー、芋虫、貝、ナッツ類の食生活から、都会でファーストフードを食べるようになったからだが、アボリジニでも魚を食べている人たちはタウリンが多く、コレステロールを体外に出すので80、90歳の長寿もいて肥満もない。

男女	男性	女性
1	日本、スイス、サンマリノ(83)	カタール(83) 日本(82)
2	フランスなど(82)	サンマリノ(82) フランスなど(81)
3	韓国など(81)	アイスランド(81) 韓国など(80)
4	台湾など(80)	スウェーデンなど(80) ドイツなど(80)
5	米国など(79)	日本など(79) 台湾など(78)
6		米国など(77)

世界中の調査結果から平均値で四分割して分けると、遺伝子も場所も違うが、タウリンとマグネシウム両方取れている所は血圧もコレステロールも低いし、肥満も少なく、健康的である。それは人類の歴史に裏付けされている。人類発生240万年を24時間にすると、10万年が1時間、1万年が6分、つまり23時54分までマグネシウムやタウリンの食生活をしてきたのに、たった6分で現在の食生活になったので、これに遺伝子が間に合わない。今の日本の若い人の食生活は、野菜や果物の摂取量が少なく、血圧高め、脂質異常の子ども、男子の4割が高血糖という結果になっている。大豆を食べると血圧や動脈硬化指数も下がり、心筋梗塞、前立腺ガンも防ぎ、骨粗鬆症が少ないなど、良いことづくめなので伝統食を食べたい。世界中で都市化が進み伝統食は失われ、食塩が入り、脂っこい保存食でコレステロールや血糖値が上がり、生活習慣病が蔓延してきている。それを予防するために大豆、魚、鶏野菜などの食材をうまく調理し、生涯食育でどのような食べ方をしたらよいか工夫して健康長寿になって欲しい。

※ この講演は、家森先生ご自身の世界中を回っての研究成果を分かりやすくお話しになり、大変有意義でした。残念ながら、多くのお母さん方、その引率の先生方が1時間30分の講演中、ずっとおしゃべりをしているのが目立ちました。

幼 な 子 と と も に

幼稚園訪問記・泉ヶ丘幼稚園



〒981-0954 仙台市青葉区川平一丁目7-16

園児数 182名 6クラス

(3歳児41名、4歳児69名、5歳児72名)

平成25年5月1日現在

梅雨の晴れ間の6月24日(月)、泉ヶ丘幼稚園を取
材訪問させて頂きました。ウエルカムボードの歓迎
宮私幼広報委員様で迎えられ、園庭には元気な子
どもたちと先生方の声が響きわたっておりました。最
後のバスが到着し、朝の集まりの会が始まりました。

インタビューには、園長庄子 真由美先生にお答
え頂きました。



園長 庄子真由美先生

園長先生からのメッセージ

- * 園生活の中でいろいろなことを体験させて将来的にこんなことが好きなんだというものを見つけられるきっかけにして欲しい
- * 出来るまでのプロセスを大切に、先生方だけではなく実習生や地域に出てた

くさんの人との交 流を大切にしたい

- * 先生方とのコミュニケーションを大切にし、学園の理念や、学年の先生方の間での意識のずれがないように努めている
- * 園の情報が保護者にきちんと伝えられるようお便りのみならず、日頃の教育について行事等折に触れ、園の方針をメール配信する等努めている。

泉ヶ丘幼稚園の教育方針

「あかるく、うがおで、げんきよく」

健康な心と体の成長を助け、人間形成の基本的な
躰の習慣化を図り、次代を託す子どもたちに意欲・
創造・個性・協力・思いやりの精神を、豊かな愛情
のもとで保育する。

泉ヶ丘幼稚園では

保育時間	8時40分～ 14時まで
預かり保育	早朝 7時30分～8時40分まで 200円
降園後給食	14時～18時まで 200円 / 19時まで 週4回 (業者弁当2回・パン給食1回・おにぎり弁当1回)
料 金	月3,900円
未就園児教室	親子登園幼稚園あひるんクラブ
週 4 回	専用の部屋があり親子で室内の遊具やおもちゃ絵本 などで遊んでいる時間 9時45分～11時30分頃ま で
会 費	1ヶ月 1,200円
バス送迎	2台で7コース 7時45分発 / 最終便9時50分着

園の特色

- * 外部から講師を迎え、週1回の体育教室、英語教室(外国の人で子どもがいて日本語のわかる人を迎え、サイバードリームも毎日取り入れている)
- * 日本舞踊(短期集中的に三学期に週一回各学年集中して行い、練習の成果を保護者に見てもらう機会を設けている)
- * 先生方のバランスが良く30代前般、20代後半、新人等お互いに自己研鑽に努めたかめあっている



特に力を入れている保育

- * 遊び、活動の切り替えが出来るように
- * 集中力を高めるためには、ということを考えて日々の保育に取り組んでいる
- * 当日は、誕生会があり私たちも参加させて頂きました。ホールで全員が集まり、ピアノの曲に合わせみんなの手拍子を受け、誕生者が金の冠で親と一緒に先生方手作りのアーチをくぐり入場。その後、好きな食べ物、親には暑い夏を乗り切るスタミナ料理などの質問もありました。みんなで楽しくお祝いしてあげている雰囲気がとてもあったかでした。
- * ホールでのお誕生会終了後、招待された誕生児保護者は、子どものクラスに入って、子どもと一緒に給食を頂き、親子共に誕生を喜び合える日となりました。



新理事長・新園長紹介

幼稚園で楽しい思い出を

あけぼの幼稚園 園長 島谷 京子

木々の緑が心地良い木陰を作っ
て、子どもたちは泥だんごづくり
に励んでいます。ピカピカになる
までまだまだですが…。「えんち
ょうせんせい」と、どこかで園長先
生を呼んでいます。耳から脳へと
巡って、そうだ園長先生は私のこ
と。「はい」とあわてて返事。呼んでくれてありが
とう！なかなかすぐに返事ができなかつたのですが、やっ
とあまり間を置かずに返事ができるようになりました。
あけぼの幼稚園は来年40周年を迎えます。地域の皆様に
支えられて歩んでくることができました。前園長の下で
30年余り勤めて参りました。これからは園長として今ま
で同様、皆様に力添えをいただきながら努めて参りたい
と思います。子どもたちと過ごす毎日がとても楽しく、
幼児教育に携わってこられたことに感謝しております。



日本の未来を担う子どもたち、大人になった時「幼
稚園の時は楽しかったな。」と思い出していただけのよ
うに『丈夫なからだ』『豊かな心』『みんな仲良し』の園
目標達成を目指して微力ながら頑張りたいと思
います。今後とも、皆様方のご指導、ご支援を賜りま
すよう、よろしくお願い申し上げます。

はじめまして

めるへの森幼稚園 園長 下河原希雄

1,500本程のテレビCMを監督
してきた私ですが、かねてよりめ
るへの森幼稚園の教育方針には
心酔していました。園長就任にあ
たり、より一層の【らしさ】を追
求していこうと職員の先生方と話
しています。



こどもたちの内に眠るチカラを信じのびのびとした
現れをみちびく。

健やかなイノチを育む、
無垢なおモイを慈しむ
優しいココロを培う、
駆けまわるアソビから学ぶ
共にイキル歓びを知る

ことを大切な柱にしていきます。

遊びをとおして、健やかなカラダと周りに親和してい
くチカラを育んでいく、それがめるへの森の想いです。

P T Aの皆さんとも、大変に仲が良いのも本園の特徴。

園長は教壇に立ちませんが、皆で一丸となって子
どもたちにすばらしい毎日を与えてあげたいと張り
切っています。

Tちゃん

蒲町幼稚園 園長 伊藤 茂

幼稚園に勤務して、あつという
間に三ヶ月が過ぎました。登園時
に泣いていた子ども達も、今では、
お母さんに笑顔で「さようなら」
をする姿が見られるようになりま
した。



先日、元気のない園児が、担任
と一緒に園長室にやってきました。

担任は「Tちゃんが、突然、喉が痛いと言って泣くんで
す」と不安げな様子で相談にきました。よくよく聞いて
みると、二週間前に、妹が生まれたそうです。多分、お
母さんは赤ちゃんの世話で手がいっぱい、姉の面倒を
見る事ができないのかもしれない。甘えたくても甘
えられない自分を誰かに見てほしく、痛みが出てきたの
でしょう。私は、担任に「先生、しっかり甘えさせて
ね」と話しました。

幼児期の子供は、悲しいときに悲しいと泣いたり、楽
しいときに楽しいと声高らかに笑ったり、喜怒哀楽を相
手に伝えることが大切だと思います。

そんなことを考えながら、幼稚園での生活を送って
いる毎日です。これから、皆様のご指導をいただきながら、
よりよい幼稚園づくりに取り組んでまいりたいと思
います。

やさしさと 自然に包まれて

利府おおぞら幼稚園 園長 伊藤正則

今年度4月、学校法人東北外語
学園「利府おおぞら幼稚園」園長
に就任しました。定年までの38年
間は公立小学校、その後は利府町
青少年教育相談員と幼児教育の現
場での経験がありませんでしたの
で、不安でいっぱいです。まずは
先輩諸氏のご指導、ご鞭撻を心か
らお願い申し上げます。



<やさしさ>と<自然>にうち満ちているのが本園
の大きな特色だと感じております。

利府町菅谷の山あいを切り拓いて作られた本園は、ま
さに自然のふとこで子どもを育む環境にあります。そ
して、そのふところの中では異年齢集団の活動が随所に
展開され、年長の子が年少の子に「手をかけ」「目をか
け」「声をかけ」てあげている《やさしさ》に満ちて
います。小学校に先立つ幼児保育の中で、このような取
組みが日常的に行われているということは、私にとって
は大きな発見でした。目の前にいる202名の子どもたち
の幸せと健やかな成長の為に、誠実に職務を遂行しな
ければと、身を引き締めている毎日です。

浅学非才な身ではありますが、「初心を忘れず」の思い
で職責を果たして参りたいと考えております。

「平成26年度教員採用をひかえての懇談会」に出席して

尚綱学院大学総合人間科学部子ども学科 小松 秀茂

初めて参加させていただきました。尚綱子ども学科の教員の一人として、「ここ2年間、人材供給の面でご迷惑をおかけしてきたことを先ずもってお詫びせねば」と思いつつの参加でした。

会で話題に上がった問題の一つが、高い離職率でした。全国保育士養成協議会が行った調査(2010)によれば、「仕事をやめたいと思う」のは、「人間関係がいやになった」「仕事が多すぎる」「園の方針に疑問」「報酬等待遇が悪い」「休みがとりにくい」「責任が重すぎる」等と感じる時のようです。人間関係に悩みながら、延長保育、保護者対応、食物アレルギー等事故への対応に追われる姿が思い浮かびますが、こうした雇用の状況・条件に関わる問題は、教育・保育現場の努力だけでは解決が難しいことは明らかです。行政レベルでの対策を訴えていく必要があるわけですが、少なくとも、「潜在保育士の掘り起こし」程度では根本的な解決にはならないものと思います。卒後2年目の教員・保育者対象に行った私たちの調査(2009)では、「保育実践上の悩み」も無視できないものでした。「子ども理解や自分の保育技能に悩みを抱える」者が60%強存在し、「機会があれば学びたいと思う」者は90%を超えていました。調査結果全体



を俯瞰して、「市場原理や成果主義の波は、保育者たちの保育観を揺さぶり……保育者としての自己実現に否定的な影響を及ぼす恐れがある……保育者たちは、子どもの側に立って何が大切かを根本から問い直し続けることが大事だと分かってはいても、自分への評価を高めるにはどうすべきかにとらわれがちになりかねない」と私たちは感じたのでした。教育・保育の現場と養成校が問題を共有し、連携して取り組む必要があると思います。

「悩みや困難を打ち明け、相談できる場を提供する」「世の中の情勢にゆきぶられない確固とした保育・教育観を形成・維持できるように応援する」「資質と専門性の向上のために研修の場を提供する」等々、課題は少なくないように思います。

子ども一人ひとりの目線に、また保護者の方々の目線にも寄り添うことができ、子ども同士が豊かに育ち合えるように支援できる。こうした人材がより多く育ちますように。

養成校との懇談会

年月日 平成25年7月5日
場 所 仙台ガーデンパレス

新加盟園紹介

本年7月に下記の幼稚園が宮私幼の新しい仲間に加わりました。

日本基督教団石巻栄光教会
栄光幼稚園 (代表 宮島 星子)

〒986-0854 石巻市大街道北二丁目12の3

編集後記

宮私幼だより138号をお届けします。

広報委員はただ今2名体制で、さらに『東日本大震災の記録集』編集も同時に行っています。誌面の内容や発行時期等、何かと行き届きもあろうかと思いますが、このような事情をお含みの上ご容赦いただければ幸いです。

【表紙によせて】泉が丘幼稚園での保育の様子